

ぜん 全

しん 進

全員で 進もう!



確かな学び通信
2026.7.1

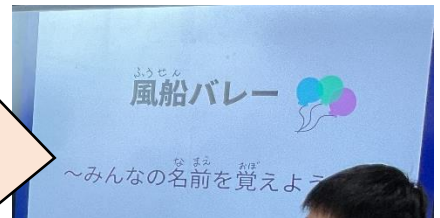
第2回はたのっこタイム

今日は、2回目のはたのっこタイムがありました。今回の活動は「グループのみんなで遊ぼう」でした。どのグループも6年生が考えた遊びを伝え、活動していました。全ての教室を見て回り自分なりに気づいたことがあったので、みなさんと共有したいと思います。

☆遊びの中にもねらいを

3-1の教室のグループでは、「風船バレー」を通して「みんなの名前を覚えよう」というねらいを明確にもって活動を進めていました。そのために、6年生は養生テープにひらがなで大きく下の名前を書いた名札を用意していました。活動中에서도互いの名前が分かりやすいようにするための工夫だったのだと思います。

この姿から、遊びそのものを考えるだけでなく、「どんな時間にしたいのか」「そのために何ができるのか」という目的を意識して準備し、当日の運営まで考えることの大切さを改めて感じました。こうした経験を続けることで、自分たちでよりよい活動を創り出す力や、相手意識をもって工夫する力が少しずつ身についていくのだと思います!



☆6年生「も」楽しむ

教室をまわっていると、6年生全員が前に立ち、1～5年生が活動している様子を見守っているグループをみかけました。もちろん進行役として活動を見守ることも必要ですが、全員である必要があるのかはいっしょに考えてみてほしいのかなと思いました。活動の中に加わることで、困っている子のサポートができたり、率先して盛り上げたり、グループにとってプラスになることがあります。進行役ですが、6年生も一緒になって楽しむという気持ちも大切にしてほしいと思います!

☆準備・進行のふりかえり

45分に活動が終わってから、2～3分で6年生とふりかえりを行っているグループがありました。準備で考えたことを実践できたか、役割分担は適切だったか、活動時のみんなの反応はどうだったか、サポートの仕方は適切だったかなど、ふりかえるポイントをしばって行うといいかと思います。進行役の子たちにやってみて感じたことを聞いたり、担当教員として見ている中で気づいたことを共有したり、次の活動にいかせるように短時間でふりかえってみてはどうでしょうか。

